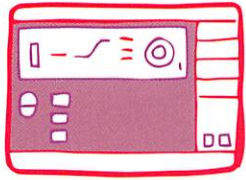


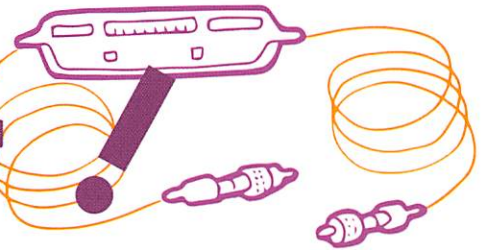
第4回 テックガーデンサロン

Tech Garden Salon

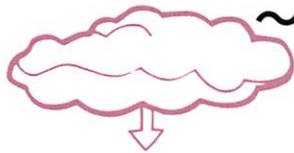
私たちの日常に当り前にある様々なモノの裏には、多くの知恵と技術が隠れています。
それを知れば世の中の見方さえ変わってしまうかも。
アートやカルチャーを楽しむように、今宵はテクノロジーの世界を気軽に楽しんでみませんか！



スイッチ



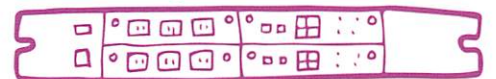
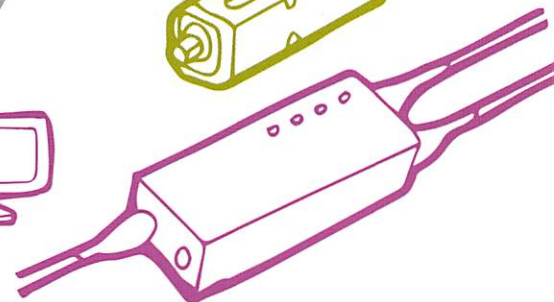
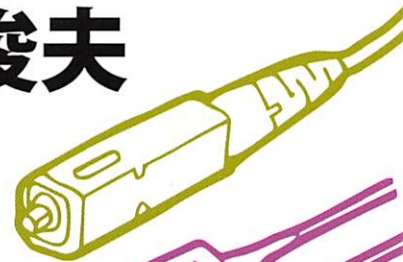
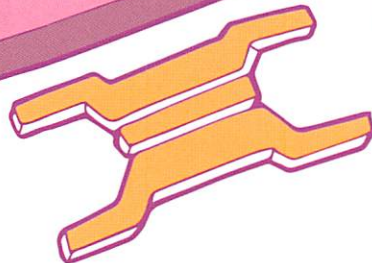
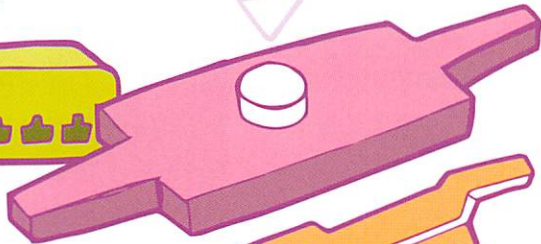
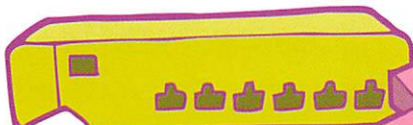
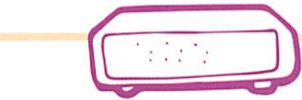
～明治150年と光ファイバー50年の雑学談義～



鹿児島大学 学術研究院 理工学域 准教授



わたなべ としお
渡邊 俊夫



日時

2017年 12月2日(土) 15:00 開場

15:30-17:30 講演

会場

マルヤガーデンズ7F garden7

〒892-0826 鹿児島県鹿児島市呉服町6-5
☎099-813-8108

入場
無料

定員50名

主催



一般社団法人 蔵前工業会 (東工大同窓会) 鹿児島県支部

<http://kagoshima-kuramae.blogspot.jp/>

後援

南日本新聞社



MBC 南日本放送

Maruya gardens

[お問い合わせ先]

蔵前工業会 (東工大同窓会) 鹿児島県支部 090-3677-7583 事務局 足立まで

Tech Garden Salon

日時 2017年12月2日(土)15:00 開場

15:30-17:30 講演

私たちは、3年前から「アートやカルチャーを楽しむように、テクノロジーの世界を楽しむ」をテーマに、マルヤガーデンズにて講演会を開催してきました。今年、現在の情報化社会を支える光ファイバー通信の話です。

講演テーマ

スイッチ！

鹿児島大学 学術研究院 理工学域 准教授

わたなべ としお

渡邊 俊夫

今から150年前、近代日本の夜明けとともに始まった電気通信は、50年前の光ファイバーの誕生によって飛躍的に発展して、現在の情報化社会に必要な不可欠なインフラとなりました。スマホからの通信も、携帯電話の基地局間では光ファイバーで信号が送られています。さらに最近では、光ファイバー中の光信号の経路を自在に切り替える光スイッチが実用化されています。光ファイバー通信において、より多くの情報を、より遠くまで、正しく伝えるためには、いかに雑音を小さく抑えるかが肝心です。

日々、さまざまな雑音と戦いながら、次世代の通信の研究と教育に取り組んでいる講演者(明治100年生まれ)が、光ファイバーや光スイッチと、それにまつわる雑学を語ります。



[プロフィール]

昨年、縁あって転職し、鹿児島に単身赴任してきました。遅い日の入りや甘い醤油に戸惑いながらも、時折、湯船から桜島に見える温泉に通って、新しい生活を楽しんでいます。神奈川県に住む家族とLINEで会話できるのも、横浜ベイスターズの試合の途中経過が随時チェックできるのも、光ファイバーのおかげかな、と思っているところです。

- 1967年 (明治100年) 生まれ
神奈川県相模原市出身
- 1990年 東京工業大学 工学部 有機材料工学科 卒業
- 1992年 東京工業大学 大学院理工学研究科 有機材料工学専攻 修士課程修了
- 同年 日本電信電話株式会社 (NTT) 入社
以来 光ファイバー通信に関する研究に従事
- 2001年 博士 (工学)
- 2016年 鹿児島大学 学術研究院 理工学域 准教授
現在に至る

